**自立支援・重度化防止に向けた目標設定と進捗状況の評価**

第7期計画の策定にあたっては、介護保険の理念である自立支援・重度化防止に向けた取組みを推進するため、共通の目標を設定し、その達成に向けた事業の推進が重要となっています。

本村においても実情に応じた目標値を設定し、各年度において計画の進捗状況を評価し、事業の実施内容・方法等の見直しを行います。

※地域ケア会議の開催

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
|  | 平成３０年度 | | 令和元年度 | 令和２年度 |
| 目標 | 実績 | 目標 | 目標 |
| 地域ケア会議（定期開催） | ２回 | ２回 | ２回 | ２回 |
| 地域ケア会議（個別事例検討） | ３回 | １回 | ４回 | ５回 |

平成３０年度　評価

　　個別事例では、「高齢者世帯の方が住み慣れた地域で暮らし続けるための社会資源の活用」

　について、認知症を有する高齢者のみの世帯が今後も在宅生活を継続していくためにはどのような支援ができるか関係者を交えて検討を行いました。

平成３０年度は、困難事例として検討するケースが１件しかなかったため１回の開催に留まりましたが、今後も必要に応じて会議を開催していきます。

※介護予防事業への参加者の増

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
|  | 平成３０年度 | | 令和元年度 | 令和２年度 |
| 目標 | 実績 | 目標 | 目標 |
| 介護予防事業（寿大学） | ２５人 | １３名 | ２８人 | ３０人 |
| 介護予防事業（ふまともクラブ） | １５人 | １５名 | ２０人 | ２５人 |

　平成３０年度　評価

　　寿大学における「ふまねっと運動」（年１１回開催）には、平均で１３名の方が参加さ

　れましたが、目標の半数程に留まりました。

高齢者が要介護・要支援状態になることなく、できるだけ健やかな生活を送ることができるよう、これからも健康づくりや介護予防の取組を推進していきます。

※介護給付適正化事業主要５事業の実施

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
|  | 平成３０年度 | | 令和元年度 | 令和２年度 |
| 目標 | 実績 | 目標 | 目標 |
| 認定調査状況チェック | 全件 | 全件 | 全件 | 全件 |
| ケアプラン点検 | ３件 | ０件 | ４件 | ５件 |
| 住宅改修・福祉用具購入・  貸与の点検 | 全件 | 全件 | 全件 | 全件 |
| 縦覧点検、医療情報との突合 | 全件 | 全件 | 全件 | 全件 |
| 介護給付費の通知 | ２０人 | ０人 | ２５人 | ３０人 |

平成３０年度　評価

　ケアプラン点検については、点検担当者の専門知識の不足により、平成３０年度は実施に至りませんでした。令和元年度からは、専門職の協力の下、点検を実施し、介護サービス利用者が真に必要とするサービスを確保、改善していきます。

　介護給付費の通知については、通知書を発行するシステムの整備が間に合わなかったことから、平成３０年度は通知書を発行することができませんでした。令和元年度からは要介護３以上の居宅介護サービス利用者を対象に、年２回（６月・１２月）発行していく予定です。